

令和5年度 保育事業計画書

1 基本方針

保育課程の文

・仲間と共に自然の中で心身ともに健やかに育つ

2 保育園の運営

(1) 所在地 埼玉県比企郡小川町増尾232-1

(2) 定員 60名

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
3名	8名	16名	15名	10名	10名

(3) 事業開始年月日

認可年月日1950年12月5日

(4) 令和3年度職員定数

常勤職員	11人	園長 1人 主任保育士 1人 保育士 8人 栄養士 1人 調理師 1人 看護師 1人
パート職員	10人	保育士 4人 調理 2人 事務 1人

(5) 組織構成

理事長	法人の運営・修繕・事務補助	尾島牧人
園長	運営責任者・雇用責任者・保育責任者	尾島満矢
保育主任	保育責任者・職員健康管理・園長補助	川口奈緒
クラスリーダー	クラスをまとめ、アイデアを実践する	植原ほのか・大島久絵
栄養士	栄養管理責任者・衛生管理責任者	関根あゆみ

(6) 会議

会議名	頻度		内容
職員会議	月2回	全員	保育行事・保育内容・子どもの姿・施設管理・職員処遇
給食会議	月各回	栄養士・主任・有機農家から1名	献立・離乳食(つくし)・うさぎ献立の検討
準備会議	月2回	園長・主任	職員会議議題の選考・保育の計画立案保育や職員の評価
週案会議	月2回	主任・クラス主任	クラスの活動・連絡等
両園会議	月1回	両園長、両主任、	両園の運営に関する事

3 保育計画

(1) 園の目標

- 遊びを通して子どもらしくのびのびと育つ
- 子どもの自由と尊厳が守られる中で、自ら思考し自分の言葉で語れる子
- 保育園の生活文化の中で自分らしく育つ
- 自然との触れ合いにより豊かな感性を育む
- 農作業を通して地域の人々や歴史や文化に親しみ郷土愛を育む

(2) 令和5年度園児数とクラス配置

令和5年4月1日現在

	つくし 0歳	うさぎ 1歳	あんず 2歳	なずな 3歳	さくら 4歳	つばめ 5歳	合計
在園児	0	3	8	15	12	8	46
新園児	3	9	0	1	2	0	15
合計	3	12	8	16	14	8	61人
先生	*植原	*大島 大宮 高橋ま	*大澤 門倉 斎藤	*松本 久保田	*小林		
事務 五十嵐 主任 川口 職員フリー 佐藤・高橋 パート 斎藤・門倉 病児保育 (看護師) 熊坂 (保育士) 田中・高須・小口 看護師 熊坂 栄養士 関根 調理師 高橋 給食パート 深野・赤松						職員 23人	

(3) 勤務体制

体制	勤務時間
通常勤務	8:30~17:30
早番①	7:30~16:30
早番②	8:00~17:00
遅番	9:00~19:00
パートA	8:15~16:00
パートB	8:30~16:15

(4) 年間行事

*別紙1にて

(5) 各種係を設置し職員全員が参加し運営しています。

係名	内容	担当
避難訓練	毎月の避難訓練を計画実地している	熊坂
健康診断	委託医への連絡・検診の準備、確認	熊坂
研修会記録	職員が参加した研修会名、内容の記録	植原
保母学校	保母学校の日いち確認、職員への声かけ	小林
遊具管理	遊具の管理、修理等	園長
処遇会議	2カ月に一回会議を行う処遇の記録	植原
希望保育	各クラスの集計、名簿作り、申し込み用紙の配布	大宮
掲示板	行事の詳細を書き、園長主任に確認し掲示	小林
月刊本	月1回、各クラスの数分+クラス分を配布	川口
小川っ子通信	行事のプリント構成	川口
写真	保育の姿を撮影、配布、集金、集計する	川口
給食会議	月一回翌月の献立内容の検討	関根
職員会議	会議の内容準備、記録	川口
延長保育	名簿の管理、月末に名簿を確認し、主任へ提出	松本
地域開放日	地域の方との交流、計画、記録	大島
消耗品	トイレトペーパーや石鹸等、保育に関わる消耗品の管理	熊坂
土曜保育責任者	土曜保育の希望者集計と管理	大澤
パパママ先生	保育士体験事業の運営準備・用意。面談等	川口
ホワイトボード	園長室前のボード	川口

◎今年度職員会議のリーダー会議 中止

(5) 職員名簿・キャリアパスモデル

—*別紙2—

(6) 職員連絡簿

—*別紙3にて—

農業計画

(1)

担当責任者	園長	年間での作物の管理・種や苗などの買い付け
田んぼ係	小林（ノート）・川口・関根	田んぼの管理 雑草駆除 田植え準備
畑係	小林（ノート）・川口・関根	畑の管理 雑草駆除 種まき苗植え準備
里山保育	小林（ノート）・川口・関根	年間で計画し、農作業や動植物との触れ合い

(2) 目標

- ◎農作業を通して様々な働きができる手を育てる。
- ◎農作業を通して、親子で仲間と関わり、働く事への喜びを深める。
- ◎種をまき・育て・収穫し・食べる、を連動させ体験し食への関心を深める。
- ◎地域の食文化を継承しながら作物を加工し食する事で、食文化を豊かにする。
- ◎四季の変化を感じ、旬の野菜のうまさを味わう。

(3) 実践

- ◎手を使い土を掘り起こし作物を収穫する。
- ◎田植えから収穫まで、収量に責任を持ち、1年を通して田んぼに関わる
- ◎夏野菜では収穫バサミやスコップなどの農作業の道具を使いこなす。
- ◎草むしりなどをする事で手指の力をつける。年長は草を揃え根っこからとれるよう努める。
- ◎収穫した食材はその日に給食室で調理し食べられるよう努める。

(4) 畑年間計画

春	野菜苗植え ミニトマト・きゅうり・モロヘイヤ・ オクラ・なす・ゴーヤ・ズッキーニ じゃがいも掘り	秋	大根種まき 枝豆の収穫 冬野菜の種まき
夏	夏野菜収穫 枝豆苗植え	冬	大根収穫 どんど焼き 味噌作り 小麦種まき

田んぼ年間計画

春	粃ふり 苗床下し 水入れ 代かき1・2 あぜぬり どろりん大会	秋	稲刈り 脱穀
夏	田植え 田んぼ除草1・2・3	冬	餅つき どんど焼き

里山保育

春	春のくさばなあそび 水路の掃除	秋	イナゴとり・トンボ 日山登り
夏	魚とり 夏の虫とり	冬	落ち葉集め

4 給食・食育計画

(1)

栄養士	関根	献立の作成・栄養管理・衛生管理
-----	----	-----------------

調理責任者	関根	給食室の衛生管理。 食中毒予防の管理。 調理具等管理。 アレルギーのある園児への給食の提供。 配膳の在り方や盛り付けにまで目を配る。
調理師	高橋 深野・赤松	調理

(2) 給食年間目標

- ①温かく、手作りの給食の提供（昼食・午後食とも手作りの完全給食）
- ②安全で美味しい食材を選ぶ（有機野菜を取り入れる、添加物のない食材を選ぶ）
- ③和食文化や四季の味を大切にした給食
（行事食、伝統食材「豆・ごま・海藻・野菜・魚・いも」を多く使う）
- ④それぞれ年齢に合った給食（離乳食・うさぎ献立・普通献立、アレルギーへの対応）
- ⑤よく噛んで食べるための食材や加工を考えた給食（咀嚼力をつける）
- ⑥盛り付けや配膳などに気を配り、子ども達が楽しく食べられるように工夫する

食育年間目標

- 1・火を使って調理をする体験をする
- 2・つくしやドドメなど野山のモノを食べて、自然の味覚を味わう。
- 3・野山や園庭など大空の下で食べる経験をする。
- 4・包丁などの調理器具を使って調理する体験をする
- 5・正しい姿勢で食事ができるように促す。

(3) 給食・食育年間計画

*別紙4にて

5 保健計画

(1)

担当責任者	熊坂	感染が拡大した時など期間と欠席状況と主な症状の記録。 検診の予約し検診の準備・記録をする。 手洗い・うがいなどの呼びかけや注意 手拭きタオルなし。ペーパータオルにする。
-------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 保健計画

◎園児

	頻度	予定日
身体測定	2ヶ月に一回 (奇数月)	5/16・7/4・9/12・11/14・1/16・3/1
内科検診	年2回	6/16・11/10
歯科検診	年1回	6/15
眼科検診	年1回	6/8

◎職員

	頻度	予定日
職員健康診断	年1回	8～10月頃
乳幼児クラス検便	毎月1回	

6 防災計画

(1)

担当責任者	園長	毎月の避難訓練を計画し、消防署による訓練の 連絡
係	熊坂	

(2)

非常時の対応	消防計画書により対応します。		
避難訓練	火災/地震を想定した避難訓練を月1回実施 消防署指導での避難訓練を年1回実地		
防災設備	自動火災報知機	消火器 4	防火用水 3
避難場所	園庭/駐車場		

7 設備点検等

(1)

担当責任者	園長	消防設備点検・受水槽清掃の連絡。 遊具の老化チェック。
-------	----	--------------------------------

(2) 設備点検計画

◎消防設備 5月・11月

◎遊具定期点検 4月・8月・12月 *マニュアルに沿って行う

8 職員育成

(1)

担当責任者	園長・川口	職員の育成・研修の計画 園内学習会の企画・実地
-------	-------	----------------------------

(2) 職員育成目標

- 1 主体的にその場に存在している
- 2 柔軟性と決断する勇気がある
- 3 他者の枠組みで把握する努力ができる。
- 4 相互理解のために自己開示を率先できる開放感がある
- 5 自己の間違えや知らない事を認める事に素直である。

よい仕事人の条件 (中野民夫より 一部を引用)

(3) 職員育成計画

- ◎園内学習会を年に2回企画し実地する。
- ◎昼会など通して話合える環境をつくる。
- ◎研修会の選考をして計画する。
- ◎年末年始の交流会や研修旅行など親睦会を企画し実地する。

9 保護者への支援

(1)

苦情対応	担当 川口 受付 熊坂 責任者 園長	保護者との話合いの対応や準備
------	-----------------------	----------------

(2) 目標

- ◎親・子・保育者が共に保育を作り上げ、子育てを通して育ち合える関係を築く。
- ◎お互いに感動を共感できるような、行事作りを共にする。
- ◎開放的な雰囲気をお互いに信頼関係を作り上げる。
- ◎安心して子育てができるよう様々な角度から支援する。

(3) 実践

- ◎公開保育などを通してのお話合い。
- ◎行事での保護者の感想や保育園の感想をプリントとして報告する。
- ◎保育士体験事業により日々の保育を体験してもらい、その後、話合いをする。

10 保護者会の活動

(1) 目標

- ◎子どもが育つ環境を作る。
- ◎保育園に関わるすべての人や地域の人に開かれた行事を作る。
- ◎保育園は保護者会の意見を尊重し柔軟で多様性を持って対応する。

(2) 保護者会年間行事

保護者会	4/15	保護者会の設立、役員決め等
------	------	---------------

(3) 保護者会役員名簿

*別紙5

11 保育3カ年計画

令和5年度	令和6年度	令和7年度
保育環境整備	地域交流スペース設置	地域交流事業開始

年間行事 *別紙1にて 職員名簿 *別紙2にて 職員連絡簿 *別紙3にて
給食・食育年間計画 *別紙4 保護者会役員名簿 *別紙5